

日刊建設新聞

The Nikkan Kensetsu Shimbun

8月25日 木曜日

2022年 第11553号

発行所
日本建設新聞社
仙台市青葉区上杉1-6-10
電話022-221-9211
FAX022-216-1051

仙建協
雇用・安全
パトロール



黄色やピンク色で色分けした標識・バリケードで災害防止を徹底していた日建工業の現場

仙台建設業協会(深松努会長)は24日、第2回雇用・安全パトロールを実施した。労務安全委員会の委員らが会員施工の現場2カ所を回り、熱中症対策、重機災害に対する安全対策などを点検した。秋開催の安全大会などで良好な事例等の情報を共有

安全管理を向上へ

し、協会全体の安全管理の向上につなげる。

パトロールは、会員企業全体の安全啓発・意識高揚を目的に年2回実施している。今回は日

建工業(仙台市青葉区)が施工する道路改築工事と、中城建設(同市宮城野区)施工の市民センター大規模改修工事を順に回った。熱中症や第三者災害防止など、現場状況に応じた安全対策を点検した。

日建工業は、都市計画道路市道南宮福室線(福室工区)の道路改築工事を施工している。歩

行者・車両とも交通量が多い現場で、第三者災害を防止するため、黄色やピンク色の標識・バリケードを設置し、誰が見ても工事現場とわかるよう工夫していた。交差点や住民の出入りするエリアは誘導員を配置した。

三浦上総現場代理人は「誰が見ても分かるよう目立つ色のA型バリケードを設置し、標識などは同じ色にならないよう色分けしている」と対策の工夫点を話した。

労務安全委員は「人や車両が多い場所で重機も使用する。逸走防止の車止めがされ良好だ」、熱中症対策は暑さ指数を計測する「WBGT」や水分補給のゼリーなどが常備され「よく管理された現場だ。広い現場のため、厳重警戒日はアナウンスすると良い」とアドバイスした。